

n002040	春牧区 鬼火焚き	概要 適用
		<p>【概要】</p> <p>一月七日、正月明けの行事として各集落で行われる恒例行事。 その執り行い方には集落それぞれの特徴があり興味深い。 元々安房からの分村として歴史の始まった春牧だけに安房との類似点が多いが、当然位置も違えば時間・規模が違う。</p> <p>まず盛久神社内では夜間のみ 12/30～1/5 までの間灯籠の点灯が行われ、静かな集落のお正月が演出される。その飾りつけを片付け正月気分いきりをつける、一年最初の大きな行事がこの鬼火焚きとなる。</p> <p>まず、年末には区内の小学生によって鬼の絵が描かれる。{べつだん特徴のない、スタンダードな鬼}あとは集落中から持ち寄られたしめ縄類、竹・薪・笹の山に長い竹を立て、そこに用意した鬼の絵を掲げ火をつける。</p> <p>ある程度火が回ったら、鬼めがけて矢を射かけ、最終的に竹を倒して燃やし、その頃手に笹やハマヒサカキの枝を持った住民がその枝を燃やして持ち帰り始め、この枝が無病息災のお守りとなる。</p> <p>本来この残り火で焼いた餅が振る舞われる所だが、近年は別に用意された餅でお汁粉が振る舞われる事となっている。</p>
<p>n002004001) 準備が整う</p>		
		
<p>n002004002 灯籠点灯1</p>	<p>n002004003 灯籠2</p>	<p>n002004004 灯籠3</p>
		
<p>n002004005 子供達の描いた鬼</p>	<p>n002004006 区長からの説明</p>	<p>n002004007 火をつける</p>
		<p>【場所】 春牧生活館前広場</p>
		<p>【写真】 n002040001 メイン 鬼火焚きの準備が整った n002040002 年末年始の灯籠点灯 n002040003 灯籠2 n002040004 灯籠3 n002040005 子供達の描いた鬼 n002040006 区長からの説明</p>



n002004008
火が回り、矢の準備



n002004009
矢を射かける



n002004010
小枝を燃やす



n002004011
ふるまいのお汁粉

- n002040007 火をつける
- n002040008 火が回り、矢の準備
- n002040009 竹が倒れ、矢を射かける。
- n002040010 小枝を燃やし、持ち帰る
- n002040011 ふるまいのお汁粉